

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立竹矢小学校）

平成30年9月25日

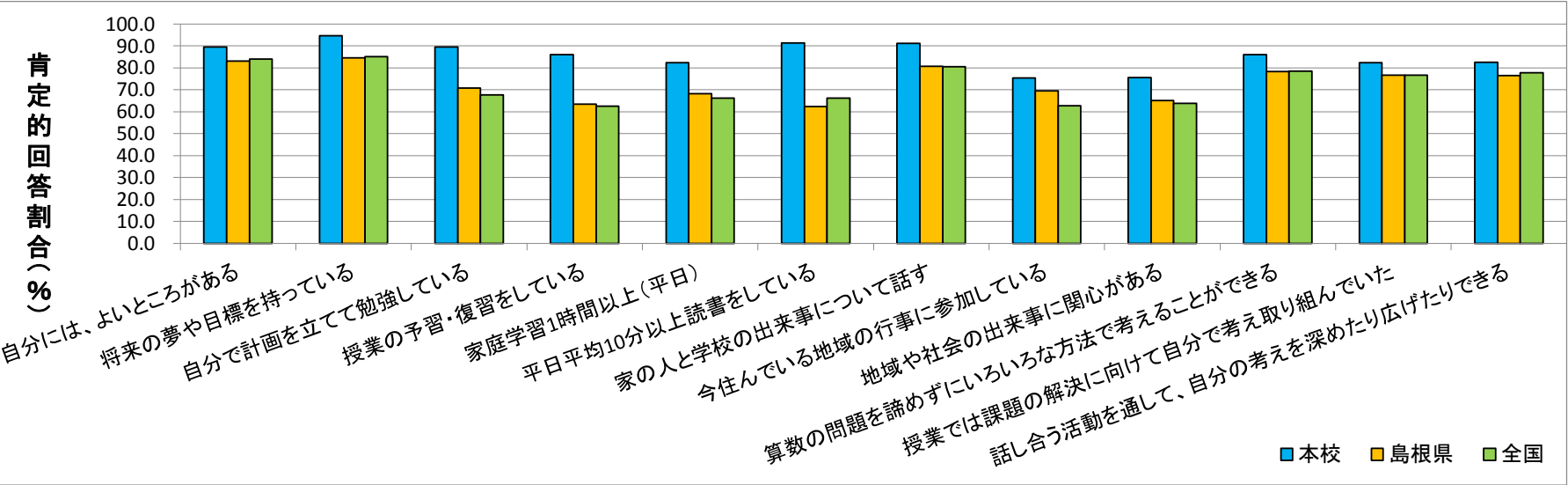
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
国語	A (基礎)	●「目的に応じて必要な情報を捉えて読む」「慣用句の意味理解(心を打たれる)」は、正答率で全国、島根県と比較して10ポイント以上低い。 ●「漢字を正しく使う」については、正答率で全国、島根県と比較して概ね10ポイント以上低く、選択式であるが、無解答率も全国、島根県と比較して10ポイント以上高い。(10名以上が無解答)	・校内研究にあわせて語彙力の向上を意図した指導を充実するとともに、日々の漢字練習を充実する。 ・国語辞典を日常的に活用する習慣が身に付くように指導を続ける。
	B (活用)	○「計画的に話し合うための司会の発言として適切なものを選ぶ」は、全国、島根県よりも約3ポイント高い。 ●「考えをまとめる」「詳しく書く」「考えを明確に読む」といった記述式の問題について、正答率が低く、全国、島根県と比較しても5ポイント以上低い。	・読書指導、図書館活用教育を継続し、読み取る力や要約する力、書く力を育てる指導を充実する。 ・日記指導や100マス作文などに積極的に取り組み、書く力を育てる。
算数	A (基礎)	○「情報の意味理解」「混み具合の比較」「角の大きさの理解」の正答率は、全国、島根県を上回った。(いずれも選択式問題) ●「円の直径の長さが2倍となったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ」「折れ線グラフの特徴から適するものを選ぶ」の正答率は、全国を20ポイント以上下回り、無回答率も全国と比較して概ね10ポイント以上低い。	・補充学習や家庭学習において、計算ドリルなどによる反復練習や授業の既習事項の復習を徹底する。
	B (活用)	○「棒グラフと帯グラフから読み取れることを選ぶ」の正答率は26.8%であるが、全国、島根県と比較すると数ポイント上回っている。 ●「図形の角の大きさの和が360度になっていることを記述する」「グラフの変化を理解して記述する」などの記述式の問題の正答率は、全国、島根県と比較して10ポイント以上低い。	・授業の中で、説明や根拠をまとめる学習を重視し、自分の考えを記述したり、言葉で伝えたりする力を高める。

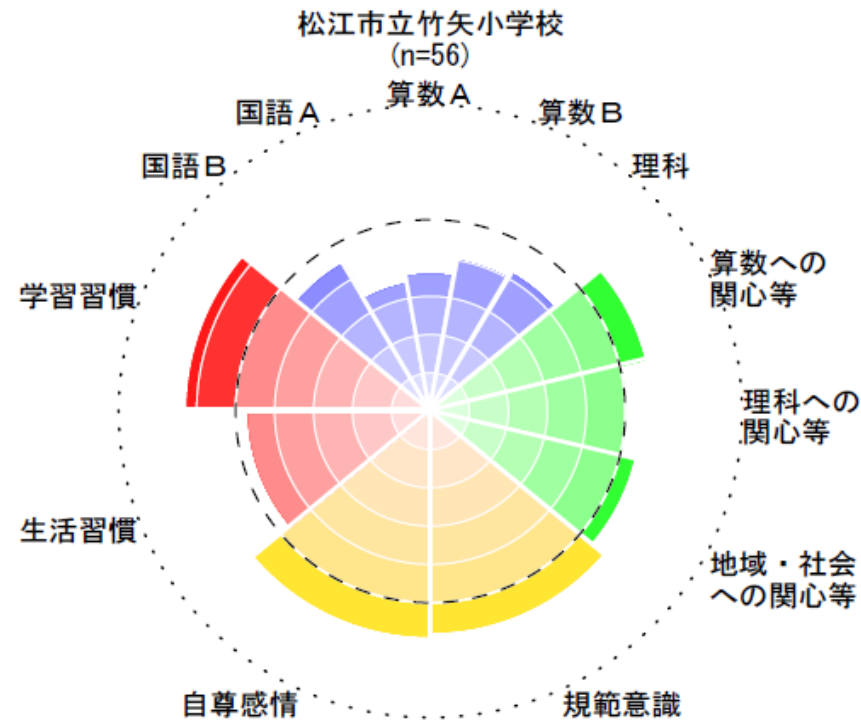
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
		○学習への意識や家庭学習、自尊感情、規範意識、地域・社会への関心等は全国、島根県と比較すると全て上回っている。 ○「自分で計画を立てて勉強している」「授業の予習・復習をしている」「家庭学習1時間以上(平日)」「平日平均10分以上読書をしている」は全国、島根県と比較して、10ポイント以上上回っている。 ●「毎日同じくらいの時間に起きたり寝たりする」など生活習慣についての意識は、全国と比較すると低い。	・家庭学習の充実に向けて、家庭への連絡を細やかに行い、家庭と連携し家庭学習の指導を継続する。 ・メディアコントロール週間などを活用し、家庭との連携を深め、基本的な生活習慣が身に付くように指導を行う。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・これまでに引き続き、授業づくりのポイントを踏まえて授業力を高め、「めあて→まとめ・振り返り」を意識して見通しがもてる授業を展開する。
- ・必要に応じて習熟度別指導等、個々の能力に応じた授業を行う。

【参考】

○平均正答率

		本 校	松江市	島根県	全国
国語	A	57	70	68	70.7
	B	50	57	55	54.7
算数	A	51	62	61	63.5
	B	42	50	49	51.5
理科		54	59	58	60.3

受検者数 56 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。